

2019 年度学校法人、幼稚園、保育園関係者様

有限会社グローアップ取締役黒川登

2018 年 4 月より仙台市内 6 ヶ所の保育園でアナフィラキシーショック時の対応マニュアルに基づいた緊急時対応マニュアル講習会をメーカーの指導および医薬品卸会社様の協力を得て開催してまいりました。この経験から令和 1 年に入り、学校法人等および各保育園、幼稚園事業所に勉強会開催の提案をしております。各園におかれまして研修の希望がございましたらご連絡ください。

当保育園の本体は株式会社ノア「けやき薬局」という法人です。当社ではアナフィラキシーだけでなく、小児 I 型糖尿病の低血糖処置及びグルテストセンサーの使用方法などについて講習会を開催予定です。子どもが安心感と信頼感をもって安定した生活ができる環境を整えるため多くの保育園、幼稚園において緊急時の対応講習会としてご検討いただければ幸いです。この講習会は「けやき薬局」で行う事業で、保育園、幼稚園に費用の発生はありません。アナフィラキシーショック講習会時間は凡そ 40 分ぐらいです。(I 型小児糖尿病講習会は未開催ですので時間数は未定)

今までの実施保育園での状況は、お昼休みの時間に開催しました。子どもちゃんが午睡しているそばで開催したことも常で、プロジェクターを使用して小さな声でお話ししました。皆様におかれまして使命感と倫理観が求められている保育士業務をもっと充実させていきましょう。お申し込みは下記の通りご案内申し上げます。かみすぎさくら保育園の電話番号を記します。電話は保育中での対応になりますので、窓口担当者にアナフィラキシー講習会申し込みとお伝えいただければ、後ほどご連絡申し上げます。FAX、メールでのお問い合わせも歓迎いたします。

かみすぎさくら保育園 〒980-0011 仙台市青葉区上杉 4 丁目 5-5

電話 022-225-6095 FAX 022-797-1412

メール kurokawa@keyaki-p.com 担当者黒川登

2019年アナフィラキシーショック講習会のご案内

この講習会は保育士の皆様にアナフィラキシーの危険性を熟知し、適切な対処法を習得いただき、緊急時に落ち着いて処置できることを目的とした研修会の提案書です。

アナフィラキシー(英: anaphylaxis)とは、原因物質(抗原)により感作される準備期間の後、その原因物質が再び生体に接触することで引き起こされる免疫学的機序による全身的なアレルギー反応を言います。アナフィラキシーによるアレルギー反応を**アナフィラキシー反応**(アナフィラキシーショック)といいます。(ウィキペディアより)

ここで学ぶアナフィラキシーショックの対処方法は当該者(当該子供さん)がかかりつけ医や主治医からアナフィラキシーの診断を受け、緊急時エピペン使用を処方された患者に使用することを前提に講義するものであります。

エピペンは、アナフィラキシーがあらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤(アドレナリン自己注射薬)です。




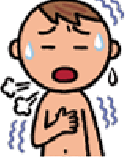
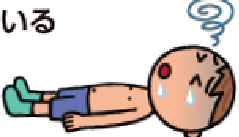
あくまでも補助治療剤なので、アナフィラキシーを根本的に治療するものではありません。エピペン注射後は直ちに医師による診療を受ける必要があります。

目的	緊急時エピペン使用についての研修
実施主体	けやき薬局 薬剤師
日程・会場	令和1年〇月〇日
対象者	保育士、幼稚園教諭、関係者様
研修内容	1) 薬剤師による当該医療機器の説明 エピペンとは・・・ 2) エピペン実施動画映像・・・ 3) エピペンを使った模擬練習 4) エピペン使用者の法的根拠について・・・ 5) 質疑応答
定員	〇〇名
開催時間	40分～
申込み方法	御校指示のとおり。
提案	株式会社ノア 代表取締役黒川とも子

敬具

エピペンが処方されている患者様でアナフィラキシーショックを疑う場合、下記の症状が1つでもあらわれたら、**できるだけ早期にエピペンを注射するとともに、救急車を呼びましょう。**

● **エピペンを使用すべき症状**

<p>消化器の 症状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 繰り返し吐き続ける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続する強い(がまんできない)おなかの痛み 
<p>呼吸器の 症状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● のどや胸が締め付けられる ● 声がかすれる ● 犬が吠えるような咳 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続する強い咳込み ● ゼーゼーする呼吸 ● 息がしにくい 
<p>全身の 症状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 唇や爪が青白い ● 脈を触れにくい・不規則 ● 尿や便を漏らす ● 意識がもうろうとしている ● ぐったりしている 	

日本小児アレルギー学会アナフィラキシー対応ワーキンググループ：一瞬向けエピペンの適応より引用
<http://www.jspaci.jp/modules/important/index.php?page=article&storyid=26> 2013/5/21参照

● 食物によるアナフィラキシー発現から心停止までの時間はわずか**30分**と

報告されています。

関係資料先 <https://www.epipen.jp/>